

価値創造プロセス

社会におけるさまざまな問題を顧客とともにどのように解決するか。

Nittoグループはバックキャストिंगの発想も取り入れ、重点分野を中心にサステナビリティ重要課題に対する解決策を世の中に提案しています。

「三新活動」と「ニッチトップ戦略」という独自のビジネスモデルによって、常に革新的で幅広い価値を創造し続けます。



**2030年に
ありたい姿**
[Nittoは、技術で未来を創造し、
驚きと感動を与え続け、
高機能材料メーカーとして
持続可能な環境・社会を
実現する]

- 1 顧客密着のマーケティングによる課題発掘
- 2 「技・製・販・管」一体での製品開発
- 3 顧客課題を解決する製品の提供
- 4 市場の拡大とともに成長

ガバナンス → P.55
経営理念・企業文化 → P.01

Nittoグループには、これまでの歴史で培ってきた基幹技術や企業文化に加えて、そこから生まれる多様な事業領域や強い知的財産権、さらに幅広い業界における顧客基盤といった強みがあります。それら顧客との強い関係性を通じて、その先にある人類・社会のニーズをいち早くキャッチしていることもほかにはない特長です。これらが先人が

ら受け継がれてきた「三新活動」「ニッチトップ戦略」と噛み合い、次々に新しい価値を生み出してきました。社会のニーズが高い分野に都度製品を入れ替えることで、高成長分野にシフトし、結果として社会課題の解決に結びついているのです。

1 | 顧客密着のマーケティングによる課題発掘

顧客に寄り添い一緒に考えることで、その先にある社会課題まで理解し、「こんなものが欲しかった」と言われるような提案をし続けます。このようなアプローチはNittoグループのDNAとなっており、これを繰り返すことで、顧客の信頼を勝ち取り、より強固な関係を築いてきました。

2 | 「技・製・販・管」一体での製品開発

新たなニーズに気づいたら、技術、製造、販売、管理部門が連携して解決策を考えます。そこには部署や立場などの壁はありません。人や技術を「コンバージェンス」することで発想が広がり、よりよい解決策にたどり着くのです。これは、コア・テクノロジーを中心とした技術の引き出しの多さと、間口の広い出口戦略、必要があればM&Aも行う柔軟性により支えられています。

3 | 顧客課題を解決する製品の提供

多様な人財の英知を結集させ、4つの基幹技術を組み合わせることで、ソリューションが形になって現れます。また、地球環境や人々の安全と健康への配慮を徹底し、人類・社会を豊かにする製品・サービスを提供します。

4 | 市場の拡大とともに成長

生み出した技術を特定の用途で終わらせず、異なる市場での可能性を探求します。時代の変化に合わせて最適な市場を見極め、高成長分野へ事業ポートフォリオを進化させていきます。そうすることで、強靱な企業体質を構築し成長を続けるとともに、持続可能な環境・社会の実現に貢献します。

Nittoグループの強み

三新活動

新用途開拓と**新製品開発**に取り組むことで**新しい需要を創造**するNittoグループ独自のマーケティング活動「**三新活動**」

既存製品の「新」しい用途を開拓して、そこに新たな技術を加える。もしくは新しい技術を用いて「新」製品を開発したうえでその用途を広げる。こうして「新」しい需要を創出する。3つの「新」を重ねて進化し続けることが、50年以上にわたって繰り返されてきたNittoグループ独自のマーケティング活動「三新活動」の原理です。

		市場	
		既存	新規
技術	新規	新製品開発	新需要創造
	既存	現行事業	新用途開拓

コア・テクノロジー

4つの基幹技術を組み合わせお客様のニーズに合った製品を開発

Nittoグループのコア・テクノロジーは、創業以来培われてきた高分子合成技術と加工技術、そこから生み出された粘着、塗工、高分子機能制御、高分子分析・評価技術であり、これらを複合・発展させ、自動車・他輸送機器、住宅・住宅設備、社会インフラ、素材、家電・電子機器、ディスプレイ、電子デバイス、医療、包装材料、消費財などの幅広い事業領域へと展開してきました。



企業文化

価値観、心構え、行動基準を明文化した「**The Nitto Way**」

Nittoグループを支えてきた諸先輩の想い・知恵・価値観は長い歴史の中で積み重ねられ、私たちの中でDNAとなって脈々と受け継がれています。それを明文化したものが「The Nitto Way」です。私たちの判断基準であり、心の拠り所となっています。



ニッチトップ戦略

自社に優位性がある**ニッチ市場**で独自の技術で**トップシェア**を目指す

成長(変化)するマーケットにおいて、グループ固有の技術を活かすことができ、かつ優位性を発揮できるニッチな分野へ経営資源を投下する、独自の集中・差別化戦略がニッチトップ戦略です。グローバルシェアNo.1を目指すのがグローバルニッチトップ™戦略、各国・エリアの市場において、特有のニーズに応じた製品を投入してトップシェアを狙うのがエリアニッチトップ™戦略です。



NittoグループのESG経営

すべての活動はサステナビリティ基本方針に基づく

Nittoグループは自らのMissionに「新しい発想でお客様の価値創造に貢献します。」を掲げ、一貫してお客様を起点とした価値創造に取り組んできました。それは私たちのDNAとして深く浸透しています。

Nittoグループは新たに「ESGを経営の中心に置く」方針を掲げ、ESG経営を加速させます。それを実践するためにサステナビリティ基本方針を制定しました。お客様の概念を直接の顧客から地球環境や人類・社会まで広げ、顧客の先まで意識することで、NittoらしくESG経

営を推進します。

サステナビリティ基本方針は、ほかの基本方針の上位概念であり、すべての活動の前提となっています(Nittoウェブサイト「<https://www.nitto.com/jp/ja/sustainability/infocus>」参照)。

これら基本方針に基づき、「Nittoグループカーボンニュートラル 2050」や中期経営計画「Nitto Beyond 2023」をマイルストーンとして、サステナビリティ重要課題に取り組んでいます。

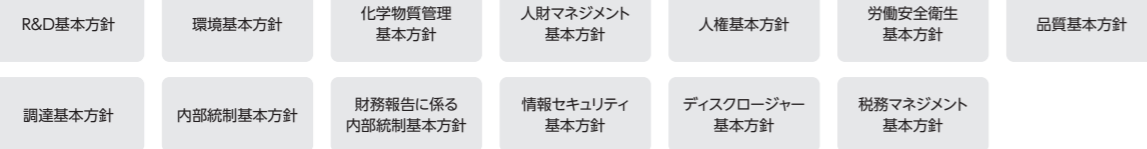
経営理念 (Mission)

新しい発想でお客様の価値創造に貢献します。

サステナビリティ基本方針

社会課題の解決と経済価値の創造の両立

～Nittoグループは、地球環境、人類と社会をお客様と捉え、持続可能な未来と幸福のためにチャレンジし続けます～

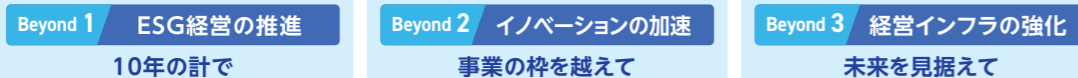


サステナビリティ重要課題

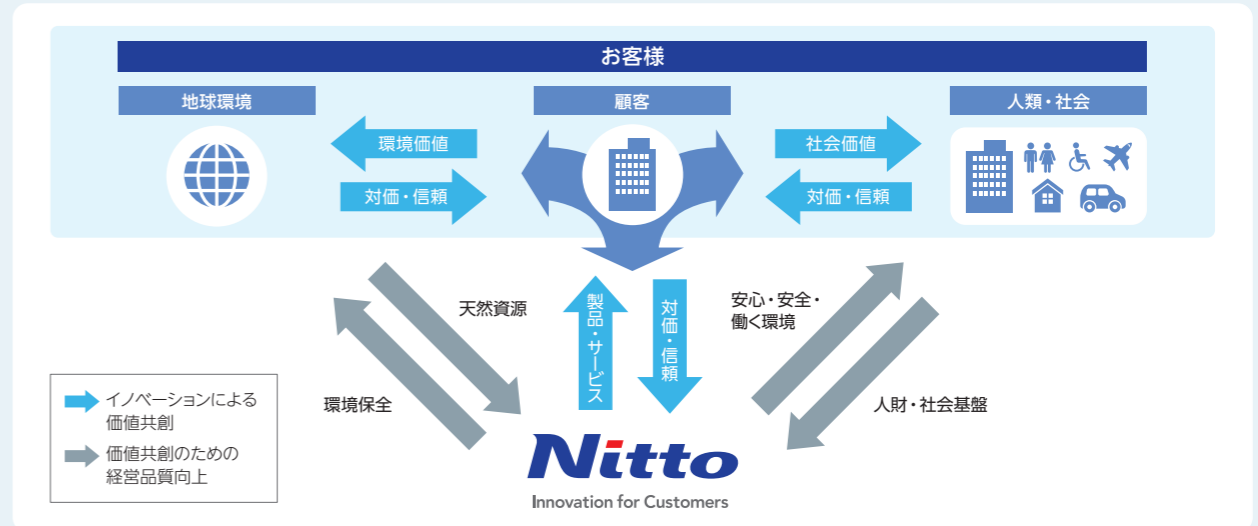
Nittoグループカーボンニュートラル 2050 / 2030年のありたい姿(達成目標)

Nitto Beyond 2023

外部環境の影響を受けにくい強靱な企業体質の構築



「お客様」の概念

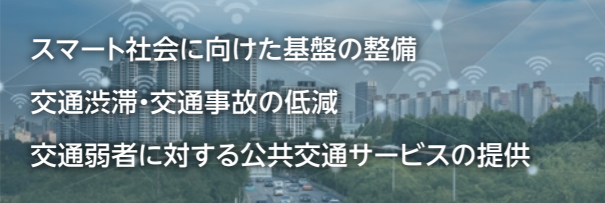

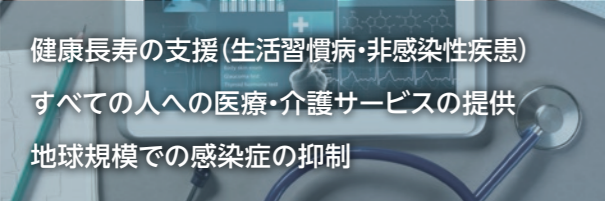


サステナビリティ重要課題



サステナビリティ重要課題(マテリアリティ)への取組み

イノベーションによる価値共創

サステナビリティ重要課題(マテリアリティ)	取組み	詳細	提供価値	2030年のありたい姿	目指すもの
 <p>スマート社会に向けた基盤の整備 交通渋滞・交通事故の低減 交通弱者に対する公共交通サービスの提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「PlanetFlags™/HumanFlags™(環境・人類貢献製品)」認定スキームの新規制定と2021年度製品認定 R&D基本方針「イノベーションによる社会課題の解決～地球環境、人類と社会のための技術開発を通じて、企業価値の向上を目指します～」に即した研究開発 3つの重点分野「次世代モビリティ」「情報インターフェース」「ヒューマンライフ」への戦略的な事業展開 	P.27～40	<ul style="list-style-type: none"> 大容量通信環境 高精細ディスプレイによる臨場感 通信端末の省電力・高機能化 大容量データの蓄積 	<ul style="list-style-type: none"> スマートデバイスの普及 多様化する高速大容量通信 自動運転の普及 	<p>安心して 利便性の 高い生活</p>
 <p>再生エネルギーの普及・省エネの推進 プラスチック・金属・水・カーボンなどの循環促進 大気・水質・土壌の汚染防止</p>			<ul style="list-style-type: none"> EV、低電力モビリティによる省エネ 太陽光、風力発電の高効率化 CO₂大気排出抑制 資源・水資源有効活用 	<p>持続可能な 循環型社会</p>	
 <p>健康長寿の支援(生活習慣病・非感染性疾患) すべての人への医療・介護サービスの提供 地球規模での感染症の抑制</p>			<ul style="list-style-type: none"> 革新的医薬 早期診断予防 新たな感染症治療 感染症予防 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな疾患の解決 遠隔医療、予防医療の普及 グローバルな感染症対策 	<p>健やかな 暮らし</p>

価値共創のための経営品質向上

サステナビリティ重要課題(マテリアリティ)	取組み	詳細	2030年のありたい姿(達成目標)	目指すもの
 <p>人財の確保・育成 ダイバーシティ&インクルージョン</p>	<ul style="list-style-type: none"> グローバルでのタレントマネジメントおよび人財育成 エンゲージメントサーベイを活用した働きがい向上 女性や外国籍人財の活躍推進、障がい者雇用の促進 	P.41～43	<p>多様な人財が生き生きとやりがいを持って働く環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 従業員教育投資 年間総研修受講時間倍増 エンゲージメントサーベイの継続的改善と課題への対策 女性管理職比率 グローバル30%、日本10% 	<p>多様な人財が 活躍できる風土</p>
 <p>製品の安全性・品質向上 労働環境の改善 サプライチェーンにおける人権の尊重</p>	<ul style="list-style-type: none"> 厳格な化学物質管理・品質管理などによる製品の安全性・品質の確保 事故災害リスクの撲滅や安全文化の醸成による安全な労働環境の確立 CSR調達や人権デューデリジェンスによるサプライチェーンの健全性確保 ホワイト物流およびグリーン物流による人や環境にやさしいロジスティクス 	P.44～46	<p>安心・安全なモノづくりによる社会からの信頼獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> 変化を先取りした品質・安全管理 重大・重要災害ゼロ 購入金額90%以上のサプライヤー持続可能性評価と改善 デジタル化によるロジスティクスの効率化 	<p>安全な モノづくり</p>
 <p>CO₂排出削減 エネルギー・原材料・水などの効率的利用 汚染・有害物質の排出削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> 製造工程における省エネ、脱溶剤、太陽光発電設備の導入 廃プラスチックリサイクルや溶剤・排水再利用、モノマテリアル化など資源循環促進 有機溶剤や有害物質の排出削減 	P.47～50	<p>環境・人類にやさしいモノづくりの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量 47万ton/年 サプライチェーンCO₂排出量削減 廃プラリサイクル率60%以上 廃棄物排出量削減 再資源材料使用の促進 VOC排出量削減 	<p>環境にやさしい プロセス</p>

中期経営計画「Nitto Beyond 2023」

Nitto Beyond 2023 コンセプト

Nittoグループは、2030年にありたい姿を描き、それを実現するための最初の3年間(2021年度から2023年度)を実行期間とする、中期経営計画「Nitto Beyond 2023」を策定しました。

「Nitto Beyond 2023」は、外部環境の影響を受けにくい強靱な企業体質の構築を目指し、その実現の

ために、Beyondへの想いととも、3つの最重要項目「ESG経営の推進」「イノベーションの加速」「経営インフラの強化」を設定しました。サステナビリティ基本方針を実践し、これまで以上に人々の健やかな暮らしや持続可能な地球環境に貢献していくことで、さらなる飛躍を目指します。

2030年にありたい姿

「Nittoは、技術で未来を創造し、驚きと感動を与え続け、高機能材料メーカーとして持続可能な環境・社会を実現する」

Nitto Beyond 2023

外部環境の影響を受けにくい強靱な企業体質の構築

Beyond 1 ESG経営の推進
10年の計で

Beyond 2 イノベーションの加速
事業の枠を越えて

Beyond 3 経営インフラの強化
未来を見据えて

サステナビリティ基本方針

社会課題の解決と経済価値の創造の両立

～Nittoグループは、地球環境、人類と社会をお客様と捉え、持続可能な未来と幸福のためにチャレンジし続けます～

経営目標

2023年度に、売上高9,200億円、営業利益1,400億円の過去最高業績を目指します。

Nittoグループの競争力の源泉である新製品比率

の維持や、脱炭素社会を見据えたCO₂排出量の削減、ダイバーシティとして女性管理職比率の向上も推進します。

財務目標	
	2023年度 (為替レート¥105/\$)
売上高	9,200億円
営業利益	1,400億円
営業利益率	15%
ROE	12%

未財務 ^{※1} 目標	
	2023年度
新製品比率 ^{※2}	35%以上の継続
CO ₂ 排出量 (2020年度比)	①排出総量 25kton ^{※3} 削減 (685→660kton) ②原単位 ^{※4} 20%低減 (0.90→0.72kton/10億円)
女性管理職比率	グローバル 17% → 21%

※1 現時点では未だ財務諸表によって提供される情報には至っていないが、将来的に財務となり得る要素、あるいは財務に転換していく要素
 ※2 上市後3年半以内の製品の全売上高に占める割合
 ※3 キロトン(千トン)
 ※4 売上高(10億円)における二酸化炭素の排出量を示す指標

Nittoグループ カーボンニュートラル 2050

地球温暖化を中心とした気候変動は、人類共通の課題であり、より良い地球環境を将来世代へ継承していくためにも、解決に取り組んでいく必要があります。地球温暖化の原因であるCO₂の発生および排出を削減することは、Nittoグループの持続的成長と、持続可能な環境・社会の実現に不可欠であり、重要な社会的責務と考えています。この度、Nittoグループでは、「Nittoグループカーボンニュートラル 2050」を宣言し、脱炭素社会の実現に向けての取組みを加速します。

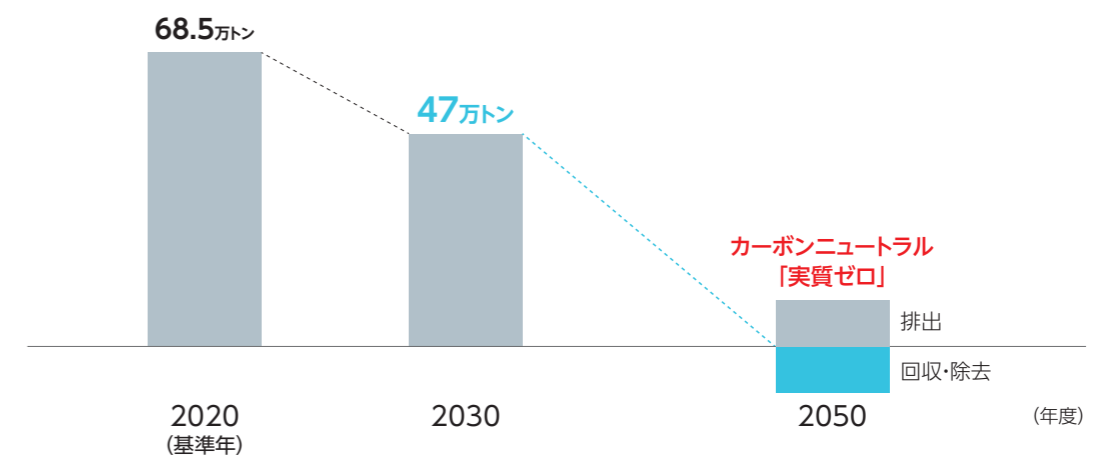
Nittoグループカーボンニュートラル 2050

- 2050年度までにNittoグループのCO₂排出量の実質ゼロを目指すこと*
- 2030年度までにNittoグループのCO₂排出量を47万トンとすること
- 製品やソリューションを通じて、お客様のCO₂排出量削減に貢献すること

* Scope1,2

Nittoグループカーボンニュートラル 2050の特徴

- 気候変動という人類共通の課題を直視し、脱炭素社会の実現を加速するという強い意志を込めていること
- 宣言を口先だけのものとせず、実質ゼロに至るロードマップを全部門がコミットしたうえでの宣言であること
- 脱炭素においても、経営理念(お客様の価値創造に貢献)を実践することを表明していること



PlanetFlags™/HumanFlags™ (環境・人類貢献製品) 認定スキームの新規制定

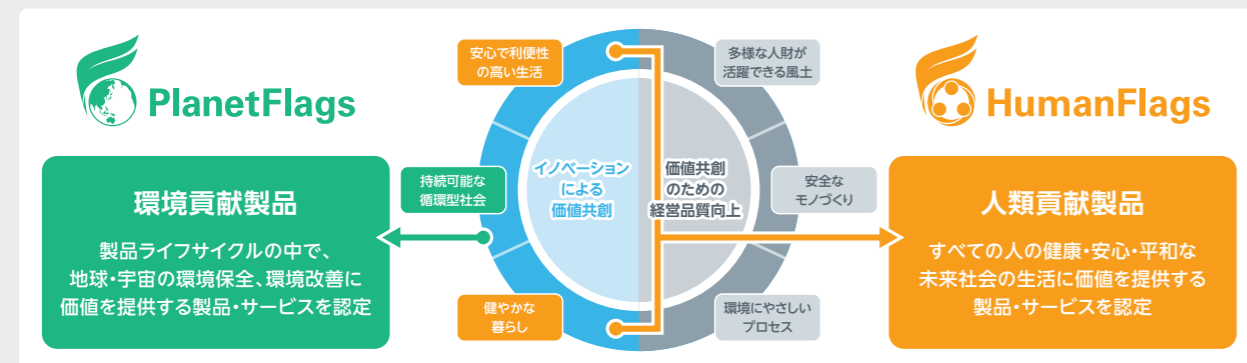
Nittoグループは環境・人類に貢献する製品の認定スキームを新たに策定しました。Nittoグループの生み出す製品・サービスの地球・人類への貢献を可視化し、特に貢献度合いの高い製品・サービスをPlanetFlags™/HumanFlags™として認定することで、サステナビリティ重要課題にある「イノベーションによる価値共創」を具現化していきます。

背景・目的

PlanetFlags™/HumanFlags™認定スキームは、サステナビリティ重要課題のイノベーションによる価値共創に貢献する製品を可視化していくための新たな取り組みです。Nittoグループの製品を環境貢献・人類貢献の二つの視点で独自の基準により評価します。そのうち、特に高い貢献が認められた製品をそれぞれ

PlanetFlags™/HumanFlags™として認定します。この認定基準は、開発プロセスにおける今後のテーマ選定にも反映します。将来のPlanetFlags™/HumanFlags™認定が期待できるテーマに開発リソースを優先的に配分することで、事業を通じた社会課題の解決と経済価値の創造の両立を加速させます。

貢献製品とサステナビリティ重要課題



認定基準

PlanetFlags™

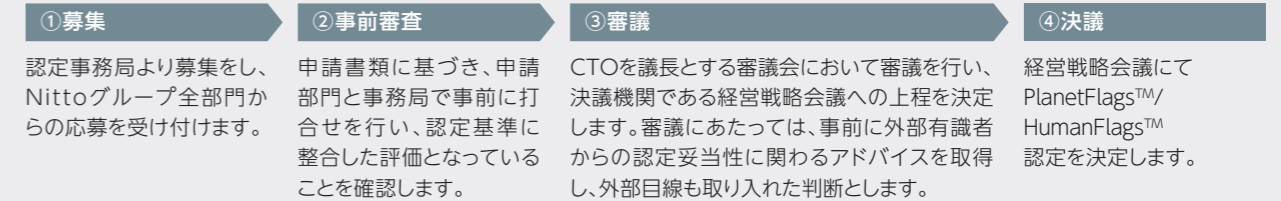
- 製品/サービスの環境貢献** 最終製品の機能発現への必然性、リサイクルの配慮、差別化の観点で評価
- 解決すべき課題について** 対象となるサステナビリティ重要課題への貢献度合いはどうか、既存品と比較した際のLCAの改善度合いはどうか、環境課題との因果関係の明確さや貢献の質はどうか
- 共感の声** 第三者機関からの認証や社外からの共感の声も評価

HumanFlags™

- 製品/サービスの人類貢献** 最終製品の機能発現への必然性、差別化の観点で評価
- 解決すべき課題について** 対象となるサステナビリティ重要課題への貢献度合いはどうか、解決すべき課題の深刻さ、対象人数の多さで評価
- 共感の声** 第三者機関からの認証や社外からの共感の声も評価

審査・認定プロセス

以下の社内プロセスを経たうえで、PlanetFlags™/HumanFlags™の認定を行います。認定は毎年実施します。



2021年度認定製品

**高性能かつ環境への負荷が極めて少ない
低VOC※両面テープ**
※ Volatile Organic Compounds (揮発性有機化合物)

製品使用例

社会へのインパクト

ライフサイクルCO₂排出量 -41%
(品番:No.5603WE、自社従来製品との比較、資源採取～製造段階の社内算出値)

VOC放散量 -90%
(品番:No. 5603WE、自社従来製品との比較、社内測定値)

Nittoのエマルジョン重合技術により作られた低VOC両面テープは、CO₂排出量およびVOC放散量の削減による環境性能と、高い接着性能を両立しています。これが認められ、第46回環境賞において「優良賞」も受賞しました。自動車の内装材固定用途では、ワール

ドワイドで20社以上の自動車関連メーカーに採用され、ライフサイクルCO₂削減と、快適な車室内環境の実現に貢献しています。また、今後はモバイル機器用途にも広く採用されていく見込みです。

その他の認定製品は、Nitto ウェブサイト [https://www.nitto.com/sustainability/infocus/flags/products/] から参照いただけます。

- 低VOC両面テープ
- ZLD (排水ゼロ化) 用途RO膜

- HDD 用フレキシブル回路基板
- 核酸医薬品の原薬製造受託
- 医療用フィルム

有識者コメント

PlanetFlags™、HumanFlags™では、明確な基準を設けることはもちろん、LCAを含め多面的に見ているのは特筆すべき点だと思います。さらに、これをR&Dの開発段階からしっかりと組み込んでいることも評価できます。今後は、課題だけでなく、できている部分にももっと目を向けるべきです。そして、トップ

シェア製品を増やしなが、技術評価の手法においても他社に影響を与えていただきたいと思います。評価手法では、技術とその後の普及を包括して見るだけでなく、サステナビリティに貢献する度合いを測るSocial-LCA (社会面まで加味したLCA) のような視点を入れて試算するなどのチャレンジを期待します。



九州大学 主幹教授
馬奈木 俊介氏